

工夫と技術でチャレンジ

九月二十一日に佐世保工業高校で行われた高校生ロボットコンクール県大会。ロボット競技とマイコンカー競技が行われ、技術を競いました。
〔新潟米一之周連〕

ロボットコンクール県大会

悔しと残る後輩に想い託し

ホーリー競技

某高校で行われた高校生
「ロボット競技とマイコ
を競いました。
「新潟米」に関連したア
イテム、「新潟県の鳥島で
モチベーションをモチーフとして
をモチベーションとして
をモチーフとした自作得
点対象物を指定された工
リアに搬送・射出し、得



▲走る！マイコンカー！

ロボット競技は長崎工業業・佐世保工業・大村が出現。三本校からは「岩屋獣M K・X」「岩屋獣M K・O K」の二台が出場しました。毎年課題が異なるロボット競技。今年は全国大会が開催される新潟県にちなんだ「金銀山」や「大花火大会」

点を競います。
今年の課題についてみると「段差や坂を上つたり、ピンポン玉などを決まつた型にいれたりする中でも三尺玉の大さの板の中にある円型にテニスボールを入れるのが一番難しい」とのこと。どのチームも難しい課

題に工夫を凝らしてチヤレンジしていました。チヤレンジして、田充広先生と顧問の岩田充広先生にインタビューアーとして、田充広先生は「準備不足でした。自分は今回で後輩の試合で引退するので、後輩が後を継いでほしいです。後輩には全国に向けて頑張つてほしいです」と少し残念そうに答えてくれました。顧問の岩田先生は「長い時間をかけて製作をしていましたのでとても



▲ロボットの最終調整



▲協力しながらボールを運び



※仕事を忘れる 楽しいひととき。



シリーズ
思い出を形に残して
口ボコソ道

三学期ももうすぐ終わります。そんな中、ロボット研究部の活動は、現在部員一人一人がロボコーン役に立つためのシラーケンシステム制御と旋盤の設計取組を目指し日々邁進していきます。

今回のロボコン道は匠苑に乗せるための写真撮影の前には、自分や部員として、顧問先生の方を中心とした一縦に暖かい空気感で包まれ、匠苑を彩る素敵な撮影となりました。来年のロボコンへ向け、これからも頑張っていきたいです。



▲丁寧なサポートで
小学生を手助け

後編
集

ります。「こんなことを書いていいるとますますお腹が空いてきました。そんなこんなで今回の一年生な日々はおしまいです。それではまた!」
(勝本)

八月二十四日に電子工作科で行なわれたラジオ作り体験教室。対象者は四年生から六年生までの四十名が参加していました。長野県から企業の方も来られて、小学生が楽しく学ぶための講話も行われました。ラジオを作る作業では、小学生が分からぬところをD科の生徒が優しく



A group of workers in white protective suits and hats are gathered around a large industrial machine, likely a welding or assembly station, in a factory setting.

○被覆アーチ溶接
優勝 杉本暁華さん (M2)
準優勝 中村知樹さん (M2)
○炭酸ガス半自動溶接
優勝 片渕美徳さん (P1)
準優勝 濱崎竜我さん (M1)
入賞した選手の皆さん
おめでとうございます。

感想もあった一方で「自分で職試験の焦りが出ていた」—就職試験や資格試験で、体育祭の準備があつたので練習できなかつたのが悔しい」「緊張して本来の力を出せなくして悔しかった」といつた。感想も聞かされました。

一年生な
日々

後記 編集 期末考査を挟み
発行までにかかりました。まだ多くの
イベントを新聞としてまとめてい
ないで、とめ切れないので、今年最後
の月、怒涛の巻き返しを狙つて活動して
いきたいと思います。次号では文化祭事
後号の予定です。お楽しみに。